



自転車交通の「これまでの10年」の検証と「これからの10年」の展望 自転車の「走」と「駐」と「システム」を考える — 自転車交通の計画とデザイン

[企画] 自転車まちづくりフォーラム実行委員会

[編集・発行] 地域科学研究会

発刊：2009.7.1 体裁：A4版/152頁(豊富な資料) 定価：5,000円(税・送料込)

- 執筆者一覧**
- (役職は講演又は執筆時)
- 高田 邦道 日本大学 理工学部 社会交通工学科 教授
 - 古倉 宗治 (株)住信基礎研究所 研究理事
 - 山口 忠嗣 三鷹市 都市整備部 道路交通課 都市交通担当課長
 - 青山 雅夫 世田谷区 土木事業担当部 土木計画課長
 - 大野 練夫 三郷市 財務部 収税課長
 - 金 利昭 茨城大学 工学部 都市システム工学科 教授
 - 小早川 悟 日本大学 理工学部 社会交通工学科 准教授
 - 吉田 伸一 (財)交通事故総合分析センター 研究部 主任研究員
 - 原島 克典 豊島区 土木部 交通安全課長
 - 露木 順一 神奈川・開成町 町長
 - 木戸 伴雄 交通アナリスト、日本大学 理工学部 非常勤講師
 - 中村 文彦 横浜国立大学 大学院 工学研究院 教授

第1編 自転車交通の計画とデザイン —自転車通行環境整備モデル地区の実践

1章 自転車と自動車の共用による安全走行空間の確保の方策

1. 世界の自転車走行空間の実態 古倉 宗治
2. 共用は本当に事故が多いのか
3. 自転車と自動車の車道での共存方法
4. 自転車の安全走行空間の確保方策

2章 [三鷹市] 自転車と共生するまちづくり ～ソフト・ハード両面からのアプローチ～ 山口 忠嗣

1. 三鷹市の地域特性と自転車利用
2. 放置自転車対策と機械式立体駐輪場の整備
3. 「自転車の安全利用に関する条例」と自転車安全講習会
4. 「自転車通行環境に関するモデル地区」の概要と取組内容

3章 [世田谷区] 自転車走行空間のネットワーク化を目指して 青山 雅夫

1. 世田谷区の地形特性と交通環境
2. 自転車走行環境整備に向けての社会実験
3. 社会実験結果の概要
4. 道路利用者と沿線住民による評価 ～アンケート調査結果より～
5. 社会実験結果にみる今後の整備方針
6. 自転車走行空間のネットワークをめざして
追記 平成20年度の取り組みの概要について

4章 [三郷市] 自転車の利用促進に向けた取組 大野 練夫

1. 自転車駐車場整備と放置自転車対策
2. 健康的で環境にやさしい自転車利用促進事業
3. 自転車利用促進環境整備計画とサイクリングガイドマップ
4. サイクル&バスライドの推進
5. 自転車通行環境整備モデル事業

第2編 自転車の利用空間 —その考え方とモデル都市の取組み

1章 自転車利用空間とコンパティビリティ(共存性) 金 利昭

1. 自転車等中速モードの多様化
2. 自転車のコンパティビリティ
3. 国内外でのコンパティビリティの事例
4. 歩行者と自転車と自動車の共存条件と課題

2章 自転車走行空間ネットワーク構築の考え方 ～アメリカ・デービス市の事例を中心として～ 小早川 悟

1. 自転車走行空間の導入にあたって
2. 道路断面の空間確保
3. 自転車走行空間のネットワーク整備の課題
4. 利用者のタイプ別特性にあわせた自転車道整備

3章 自転車事故発生の傾向と特徴 吉田 伸一

1. 交通事故の現況 ～交通手段別の負傷者数・死者数の推移～
2. 自転車事故の特性と課題
3. “被害者”としての自転車 ～対歩行者以外の事故～
4. 加害者としての自転車 ～対歩行者の事故～
5. ルールを徹底した自転車利用の必要性

4章 [豊島区] 「自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」の策定とその効果 原島 克典

1. 放置自転車問題解決に向けての挑戦
2. 自転車交通の「総合計画」策定とその効果
3. 放置自転車対策から自転車利用環境整備へ
4. 撤去自転車の有効活用 ～発展途上国への譲与活動の展開～

5章 [神奈川・開成町] 自転車の街づくりをめざして 露木 順一

1. 開成町の地形特性と都市計画
2. 自転車利用環境整備モデル事業の基本計画とその成果
3. レンタサイクル社会実験と交通安全教育

第3編 自転車の「走」と「駐」を考える —これまでの10年、これからの10年

1章 [問題提起] 自転車の「走」と「駐」をめぐる諸問題 高田 邦道

1. これまでの10年の取り組みと課題 高田 邦道
 - (1) 自転車利用環境整備モデル都市の取り組み
 - (2) 「走」をめぐる課題
 - (3) 「駐」をめぐる課題
2. これからの10年に向けて
 - (1) 自転車道と自転車レーンの一体的整備によるネットワーク化
 - (2) 公共交通システム支援の仕組み
3. 自転車道・レーン整備のための課題

2章 [パネル討論] 自転車まちづくりの

コーディネーター：高田邦道 過去と現在、そして今後の展開
 パネリスト：金利昭/小早川悟/吉田伸一/原島克典/大野練夫/露木順一

はじめに —「実行委員会」発足の背景と役割

1. 交通事故対策と放置自転車問題
2. 自転車の「走行空間」をめぐる課題と解決策
3. フロア(参加者)とのディスカッション

自転車まちづくりフォーラム実行委員会

自転車走行空間の交通運用形態とその道路構造 木戸 伴雄

1. サイクリストは交通規制やルールを知って交通の場へ参画すべきだが
2. 自転車走行空間とは通行路の道路構造と交通規制との結合物
3. 自転車用通行路のネットワーク化に必要な論点

都市交通戦略の中で自転車とバスを共存 そして連携させていくための課題 中村 文彦

1. 都市交通戦略の中で自転車とバス
2. 走行空間の共有に向けての課題
3. システムとしての連携に向けての課題

[自転車まちづくりフォーラムを支援します(協賛広告)]

JFEエンジニアリング(株)/日本サンサイクル(株)/株式会社研製作所/
 (株)ブラネット・フォーまちづくり推進機構/(株)日建設計シビル/
 (株)アーバントラフィックエンジニアリング/駐輪・駐車場情報センター/
 自転車駐車場工業会/日本サイクルラック協会/交通工学研究会/
 自転車産業振興協会/日本大学理工学部社会交通工学科

資料シリーズ25 交通計画集成：全12巻

◆編集委員（監修）

太田 勝敏 東京大学大学院工学系研究科教授
 岡 並木 評論家（比較都市論）
 高田 邦道 日本大学理工学部教授
 山本雄二郎 高千穂商科大学商学部教授

◆特色・体裁

事例：国内81・海外68都市(21ヵ国)
 カラーグラビア48頁・370葉(全巻計)、図・表・資料1,398点、写真1,034葉
 各巻共 A4判(180～256頁)
 定価：各巻共 9,990円(税込み) [但し、巻1、4、5、11は9,991円]

◆テーマ

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 巻1 交通需要マネジメントの方策と展開 | 巻7 自転車の役割とマネジメント |
| 巻2 中心市街地の再生と交通計画 | 巻8 「交通」の社会実験と市民参加 |
| 巻3 公共交通の整備・利用促進の方策 | 巻9 観光地域の交通需要マネジメント |
| 巻4 交通結節点の計画と短距離交通 | 巻10 空港の新しい役割と地域共生 |
| 巻5 物流・沿道環境・立体道路 | 巻11 移動制約者の交通環境整備 |
| 巻6 駐車場の整備手法と活用の施策 | 巻12 これからの都市と交通とまちづくり |



巻7 自転車の役割とマネジメント

【監修】岡 並木 [1998.3刊 182頁 定価9,990円]

第1章 都市交通と自転車
～駐輪場の整備から自転車の活用へ

1. 自転車を利器として生かす道を忘れている日本
2. 自転車交通の役割と可能性
3. 改正自転車法の運用と自転車を含めた交通計画
4. 改正自転車法と自治体条例、総合計画
5. 転換期を迎えた駐輪場づくり
6. 市街地における自転車の走行環境整備
7. オランダに学ぶ自転車を中心としたまちづくり
8. サイクル・アンド・バスライドの現状と効果

第2章 国内にみる新しい「自転車」対策
～自転車交通への試み

1. [旭川市] 歩行者と自転車の快適なネットワークの整備
2. [武蔵野市] 自転車条例改正・運用と今後の対策
3. 自転車駐車場の複合化とこれからの新しい形態
4. [練馬区] 交通計画としての自転車対策
5. サイクリングトレインの運行について
6. 自転車を積めるバス運行の取り組み
7. マンションの自転車共有化の試み



巻8 「交通」社会実験と市民参加

【監修】山本雄二郎 [1997.12刊 188頁 定価9,990円]

第1章 まちづくりと交通計画

1. これからの都市と交通の計画
2. 交通計画実現のための合意形成とまちづくり
3. 都市交通計画の推進と社会実験
4. 空港の計画・建設・運用のプロセスと地域参加
5. [アメリカ] 交通計画の新しい課題と実現プロセス
～ポートランド都市圏等～
6. [ドイツ] 交通計画の役割と実現プロセス
～シュトゥットガルト市～
7. 都心商業活性化と歩行環境整備への展望

第2章 参加と実現のケーススタディ

1. [掛川市] 新幹線駅建設からスタートした
総合的なまちづくり
2. [東葉高速鉄道] 沿道住民との合意形成
3. [金沢市] P&Rシステムの取組みについて
4. [宇都宮市] 通勤交通における企業参加のTDM
5. [横浜市] モニター制度を活かした市民参加の交通運営
6. [世田谷区] 地域個性を活かした区民参加の道づくり



巻12 これからの都市と交通まちづくり

【監修】太田勝敏 [1998.3刊 231頁 定価9,990円]

序章 [座談会：編集委員] 共生の時代の交通
—これからの10年と自治体の役割を展望する

第1章 海外にみる都市と交通の考え方と実際

1. 路面電車ルネッサンス
2. アムステルダムの都市政策と交通
3. シアトルとオタワの交通まちづくり
4. [韓国] 釜山広域市の緑色交通市民運動(G T)
5. [ブラジル] クリチバ市のバス輸送システム
6. 欧米にみるまちづくりと交通計画

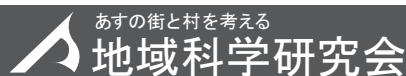
第2章 国内の注目すべき試み

～交通を軸としたまちづくりへの挑戦～

1. [武蔵野市] 交通マスタープラン策定と実践
2. [豊田市] 公共交通を利用した交通手段の転換実験
3. [札幌市] 公共交通を軸としたまちづくり
4. [名古屋市] 基幹バス・ガイドウェイバス
5. ヒヤリ地図の方法と効用

第3章 「交通まちづくり」に求められる新しい
課題と展望 ～編集協力者からのメッセージ～

お申込み・お問合せ



あすの街と村を考える

東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993
 URL <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/>

【購入申込書】 FAX：03-3234-4993 MAIL：machi@chiikikagaku-k.co.jp 年 月 日

- 「自転車交通の計画とデザイン」 ____冊
 4冊セット（「自転車交通の計画とデザイン」+「交通計画集成 巻7+8+12」→ セット価格(税込)：29,500円）
 交通計画集成〔巻1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12〕（○で囲む）

団体名 TEL () FAX ()

住所 〒 MAIL

所属部課役職名
 申込連絡者 印

・必要書類〔納品書() 請求書() 見積書()〕
 ・所定用紙（ご同封下さい）
 ・支払方法〔銀行振込() 郵便振替() 現金書留()〕

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。